

平成 26 年 12 月 25 日  
広 域 医 療 局

## 「エボラ出血熱」に関する対応について

- 1 「エボラ出血熱対策担当者会議」の開催（広域防災局と合同開催）  
（平成 26 年 12 月 19 日）  
構成団体及び連携県の担当者が出席し、次のことを確認した。
  - （1）連絡体制の確立
    - ・ 構成団体及び連携県の担当部局との連絡体制を構築する。
    - ・ 「エボラ出血熱」対策に関する情報収集を行い、構成団体及び連携県に対して情報提供を行う。
  - （2）情報の共有化
    - ・ 構成団体及び連携県が所有する「防護服」や「搬送車」等の種類、数量や「研修・訓練」等について、情報の共有化を行う。
  - （3）広域連携方策の検討
    - ・ 構成団体及び連携県における共通課題を抽出し、今後、どのような連携が可能か、検討を行う。
  
- 2 今後の取組み
  - （1）平成 27 年 1 月～ 構成団体及び連携県と「連絡体制」を構築し、必要な情報提供を行う。
  - （2）平成 27 年 2 月～ 第一種感染症指定医療機関の研修・訓練の充実や必要物品等に対する財政支援について、「国へ政策提言」を行う。

関西広域連合内のエボラ用防護服及び患者搬送車の保有状況調査票

団体名	エボラ用防護服（現在）		アイソレータ が乗せられる 患者搬送車	アイソ レータ	患者搬送車ない場 合の対応方法	今後の予定			備考
	医療機関	府県・保健所等				エボラ用防護服		アイソレータ等	
						医療機関	府県・保健所等		
1 滋賀県	500着	70着	1台	1台					患者搬送車の1台については、県内全域で対応する。
2 京都府	約500着（在庫と新規購入分の合計）	約900着（在庫と新規購入分の合計）	5台	8台					アイソレータはハードタイプ1台、ビニールタイプ7台
3 大阪府	1720着 ※第一種指定医療機関3病院	本庁 16着購入済 保健所 167着購入済	2台	2台					
4 兵庫県	1100着 ※第一種指定医療機関2病院	120着	1台（1月～）	2台	保健所所有の車両又は民間救急等				H27年1月、アイソレータ及び患者搬送車を各1台整備予定。
5 和歌山県	700着	1350着	3台	3台			県費で保健所等に配布分1,200着発注中	搬送車両及びアイソレータを各2台ずつ12月中に購入予定。	
6 鳥取県	400着	300着	3台	3台					アイソレータを追加で3台配備予定
7 徳島県	50着（今年度県費で500着追加購入済）	今年度、県費で保健所等に200着購入済	1台	1台					患者搬送車の1台については、県内全域で対応する。
8 京都市	京都府の回答に同じ	約300人分	1台	1台					移送及び消毒は京都保健衛生協会に委託している。
9 大阪市	—	1784人分の貯蓄あり	1台	1台				アイソレータ国の補助金を使って追加購入検討中	患者搬送車の一台については、大阪市内全域で対応する。
10 堺市	医療機関で購入済み。数量は市で把握していない	今年度、保健所で140着購入済	1台	0台			来年度予算で要望予定		空気感染ではないため、バイオキャノピーやビニールシートで遮蔽して搬送。
11 神戸市	病院独自で500着購入済	今年度、市費で130着購入済	1台	1台					
12 福井県	1500着	280着	1台	1台				1月に80着追加購入予定（県単）	
13 三重県	365着	455着	4台	6台				50着発注中	
14 奈良県	250着	今年度、県費で240着購入済	1台	1台		医療機関が400着購入予定	国の補正を活用し、別途300着購入予定		県庁にて保管。保健所設置市を除く県内全域で対応（複数発生時につき、消防と調整中）